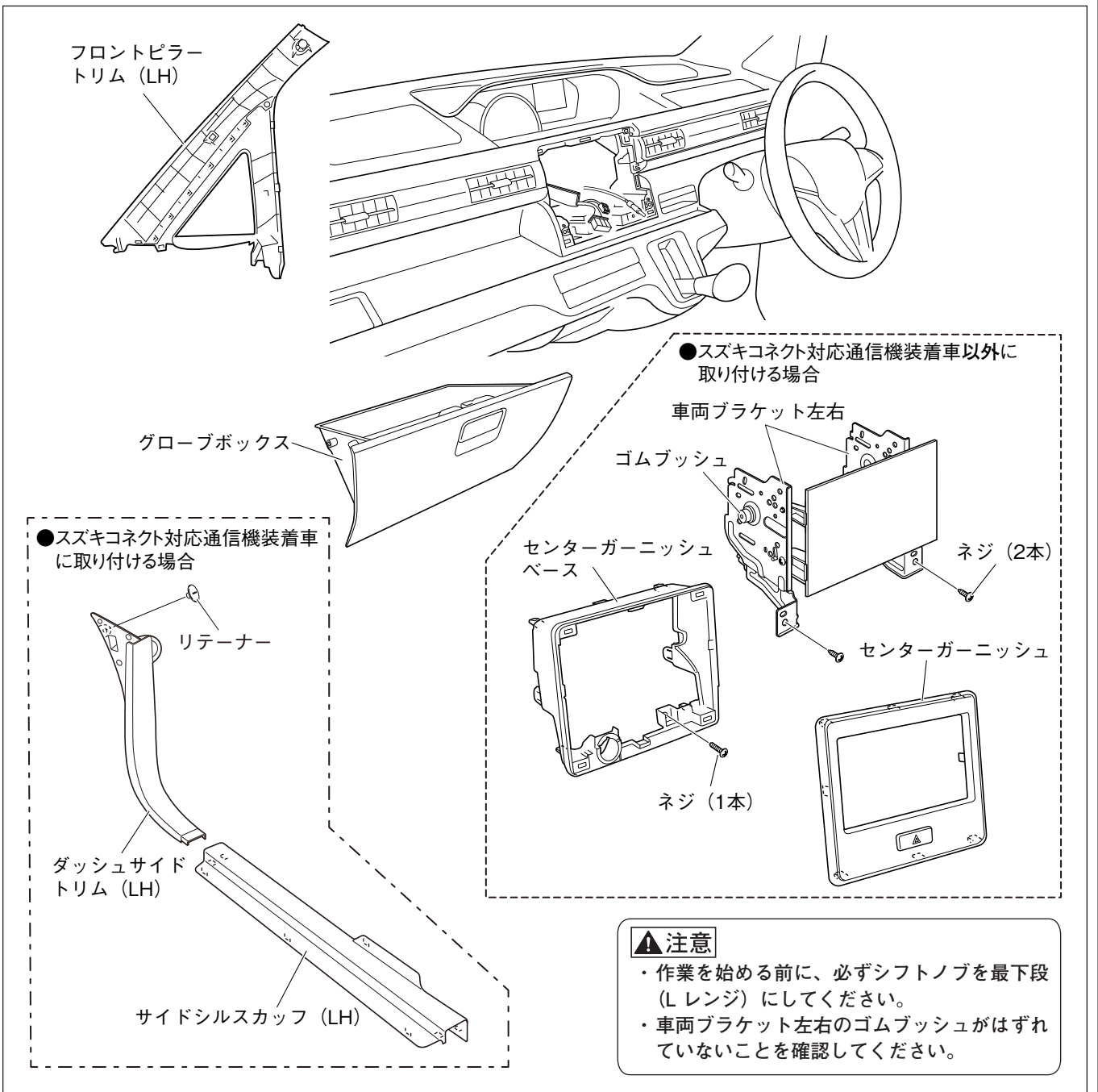


■ ワゴン R

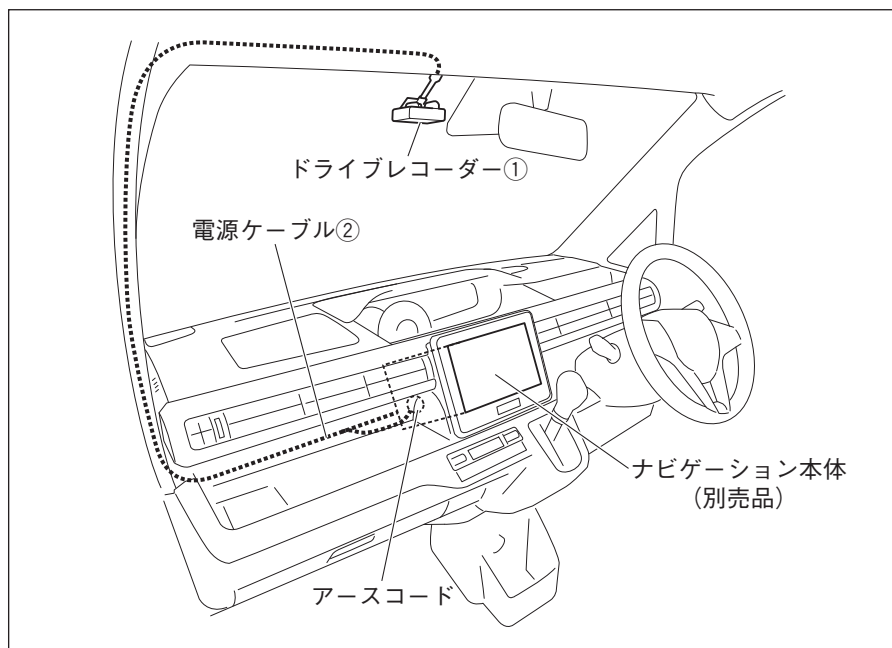
1. 車両部品の取り外し



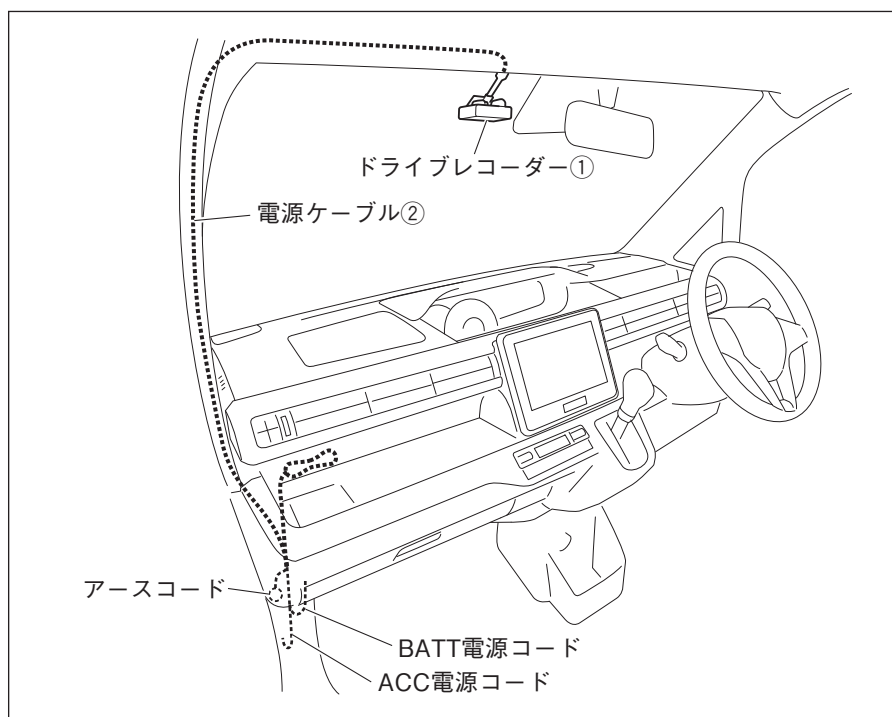
1. フロントピラートリム (LH) を取り外します。
2. グローブボックスを取り外します。
- 以下、イラスト点線内の車両部品は、スズキコネクタ対応通信機装着車以外に取り付ける場合に取り外します。
3. センターガーニッシュを取り外します。(ハザードスイッチコネクタ、クリップ4箇所、ツメ4箇所)
4. センターガーニッシュベースを取り外します。(ネジ1本、クリップ4箇所)
5. 車両ブラケット左右を取り外します。(ネジ2本、オーディオコネクタ、アンテナコネクタ)
- 以下、イラスト点鎖線内の車両部品は、スズキコネクタ対応通信機装着車に取り付ける場合に取り外します。
6. サイドシルスカップ (LH) を取り外します。(ツメ8箇所)
7. ダッシュサイドトリム (LH) を取り外します。(リテーナー 1箇所)

2. 取付概要図

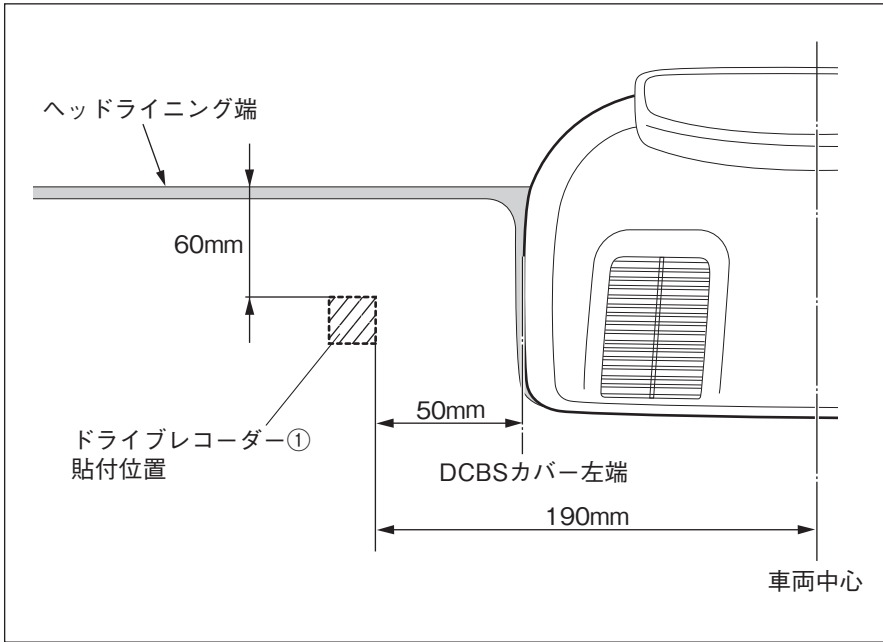
●スズキコネクト対応通信機装着車以外の場合



●スズキコネクト対応通信機装着車の場合



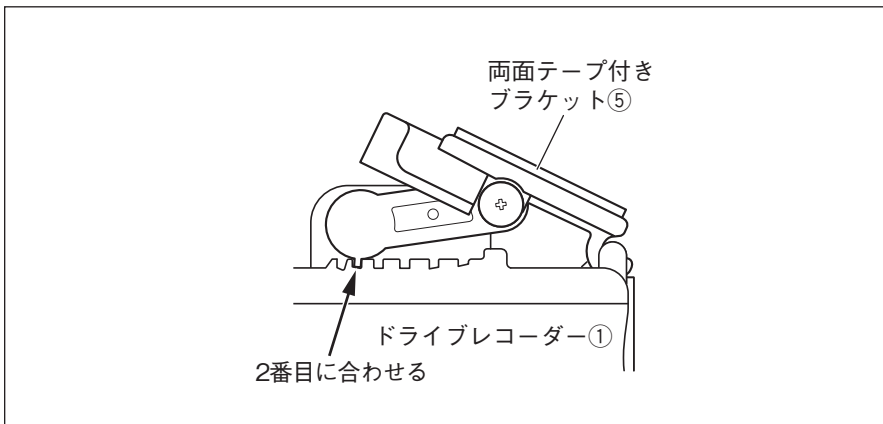
3. 取付位置



1. ドライブレコーダー①は、左図の位置に取り付けます。
DCBS付き車、DCBS無し車共に、ドライブレコーダー①の取付位置は同じです。それぞれ左図の寸法にて取り付けてください。

4. 取付要領

a. 両面テープ付きブラケットの取り付け

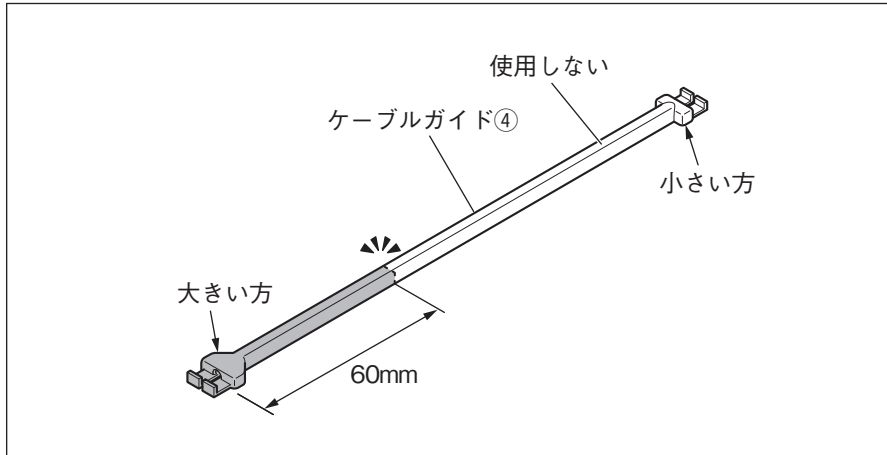


1. 両面テープ付きブラケット⑤をドライブレコーダー①に組み付け、左図の位置に固定します。

▲ 注意

両面テープ付きブラケット⑤取り付けの詳細は共通編「**■**ドライブレコーダーの取り付け」の〈両面テープ付きブラケットの取り付け〉を参照してください。

b. ケーブルガイドとクッションテープおよび保護シートの準備



1. ケーブルガイド④を左図のようにカットします。

クッションテープ (200×100mm) ⑧

60×70mm A	60×70mm A	40×25mm B	40×25mm C
		40×25mm B	40×25mm C
		40×25mm B	40×25mm C
60×30mm D	60×30mm D		40×25mm C

2. クッションテープ⑧を左図のようにカットします。

A: 電源ケーブル②のヒューズ巻き付け用

B: 電源ケーブル②巻き付け用

C: 電源ケーブル②固定用

- 以下は、スズキコネクタ対応通信機装着車に取り付ける場合に使用します。

D: 中継コネクタ③巻き付け用

保護シート (200×100mm) ⑨

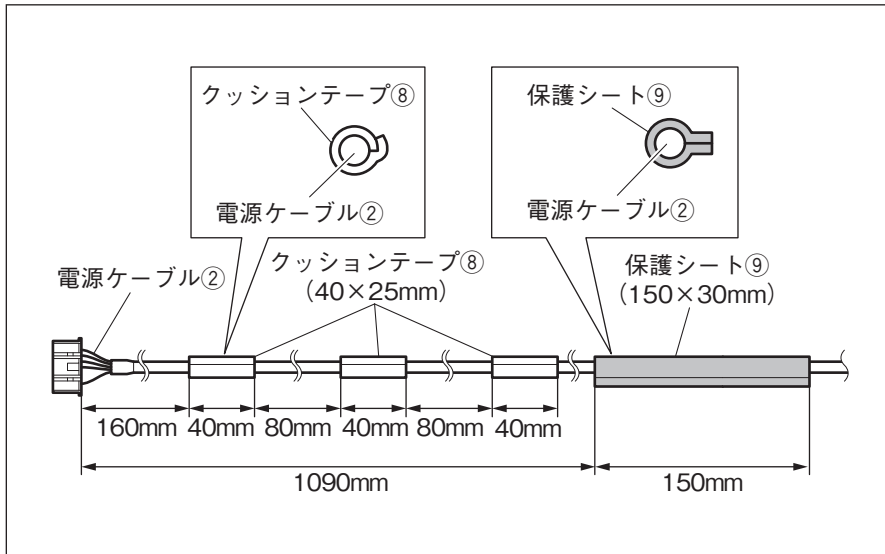
150×30mm E	
50×20mm F	50×20mm F

3. 保護シート⑨を左図のようにカットします。

E: 電源ケーブル②巻き付け用

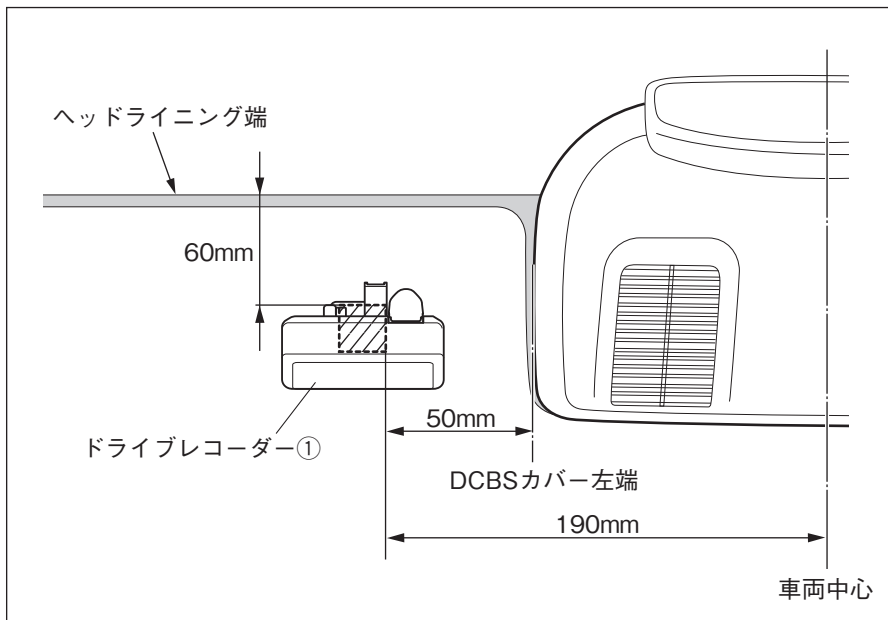
F: エッジ保護用

c. 電源ケーブルの準備



1. カットしたクッションテープ⑧および保護シート⑨を左図のように貼り付けます。

d. ドライブレコーダーの貼り付け



1. 貼付面の油污れなどをきれいに拭き取ります。

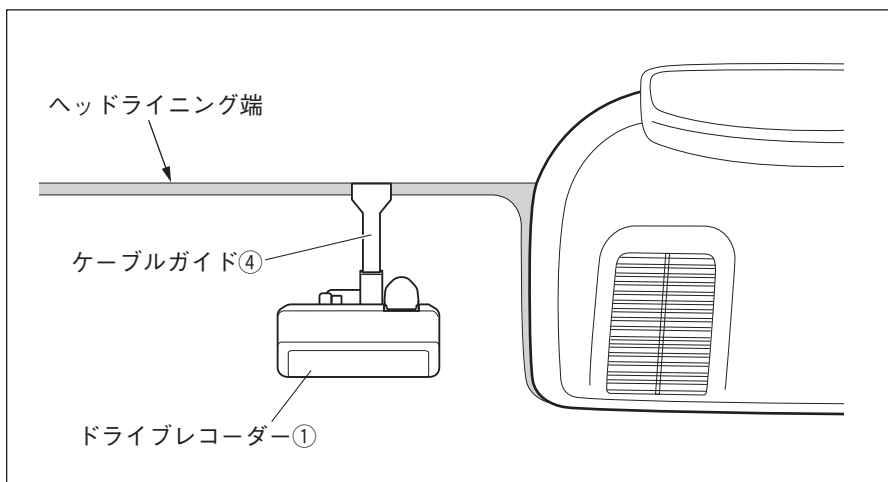
▲ 注意

ドライブレコーダー①を貼る面の油污れなどをクリーナー⑪できれいに拭き取ってください。汚れていると粘着力が低下し固定できなくなります。

2. ドライブレコーダー①を両面テープでフロントガラスの左図の位置に取り付けます。

▲ 注意

ドライブレコーダー①取り付けの詳細は、共通編の「■ドライブレコーダーの取り付け」を参照してください。



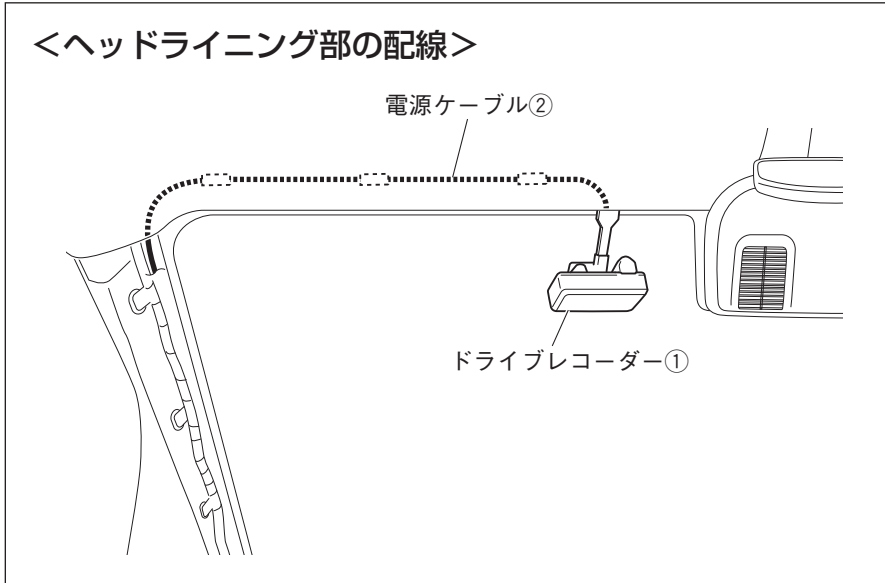
3. ケーブルガイド④を取り付けます。

▲ 注意

ケーブルガイド④取り付けの詳細は共通編「■ドライブレコーダーの取り付け」の〈電源ケーブルの取り付け〉を参照してください。

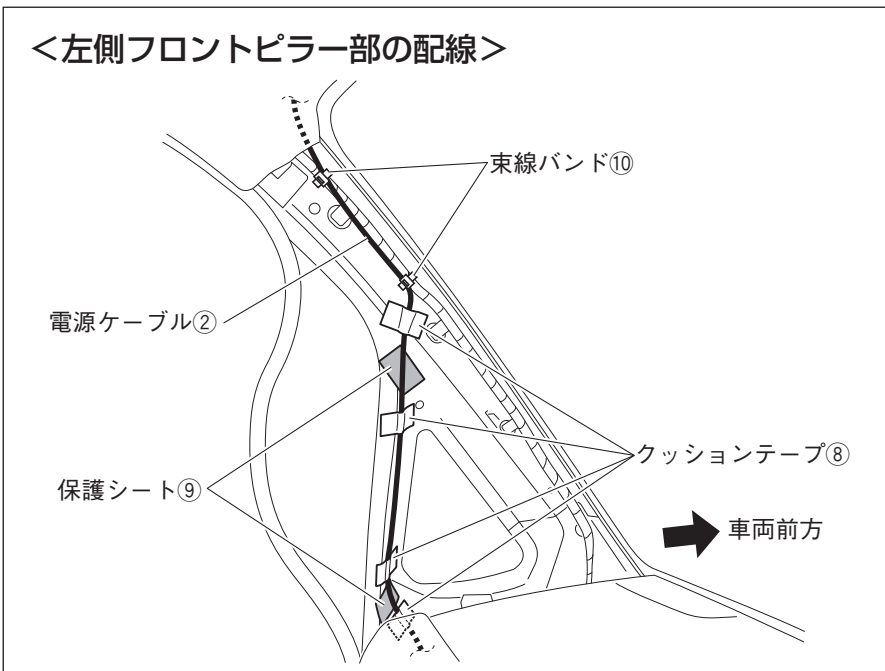
e. 電源ケーブルの配線 -1

<ヘッドライニング部の配線>



1. 電源ケーブル②をヘッドライニング内に入れ込みながら、フロントピラー部へ配線します。

<左側フロントピラー部の配線>



2. 電源ケーブル②をフロントピラーに束線バンド⑩およびクッションテープ⑧で固定しながら配線します。

⚠ 注意

板金エッジ部に保護シート⑨を左図のように貼り付けてください。

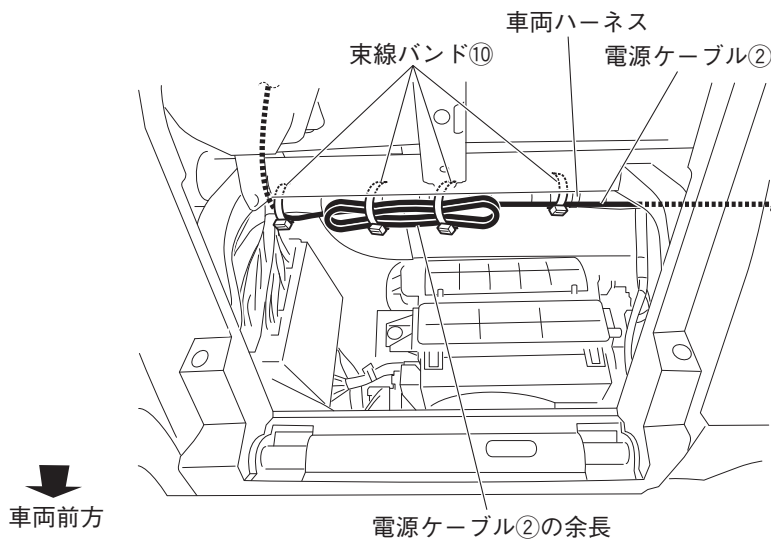
注記

- ・電源ケーブル②、クッションテープ⑧、保護シート⑨および束線バンド⑩は、カーテンエアバッグの部品と接触しないように配策・固定してください。
- ・クッションテープ⑧、保護シート⑨や束線バンド⑩でフロントピラートリムの固定クリップ穴をふさがらないでください。また、フロントピラートリムの当てリブ部と干渉しないようにしてください。

f. 電源ケーブルの配線 -2

●スズキコネクタ対応通信機装着車以外の場合

<グローブボックス取付部の配線>



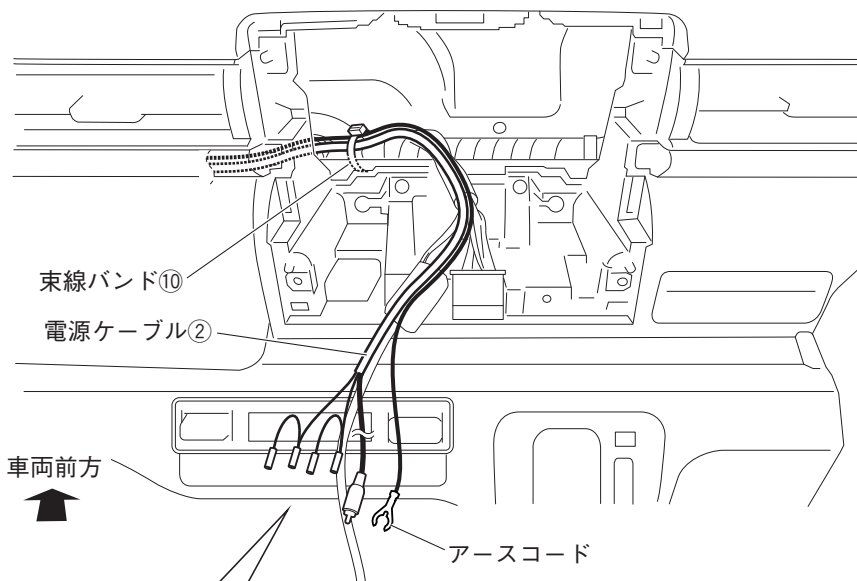
1. 電源ケーブル②をナビゲーション取付部まで配線します。

電源ケーブル②は、束線バンド⑩で車両ハーネスに固定し、余長は束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。

▲注意

- ・2分割されている電源ケーブル②を共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・余長を固定する際は、ナビゲーションのGPSアンテナケーブルや地デジアンテナケーブルの余長と同じ場所に固定しないでください。

<ナビゲーション取付部の配線>

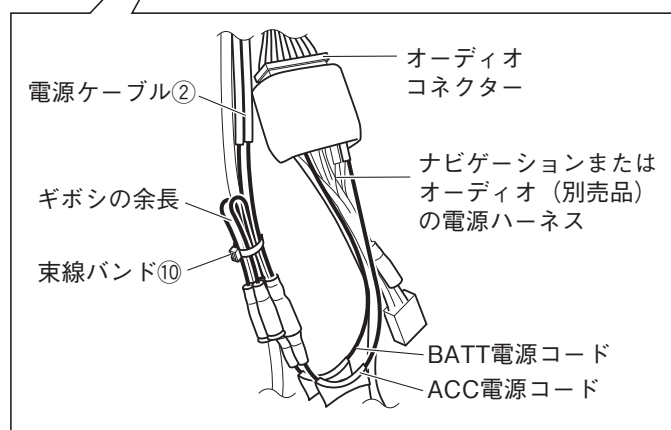


2. 電源ケーブル②をナビゲーション（別売品）またはオーディオ（別売品）の電源ハーネスに接続します。

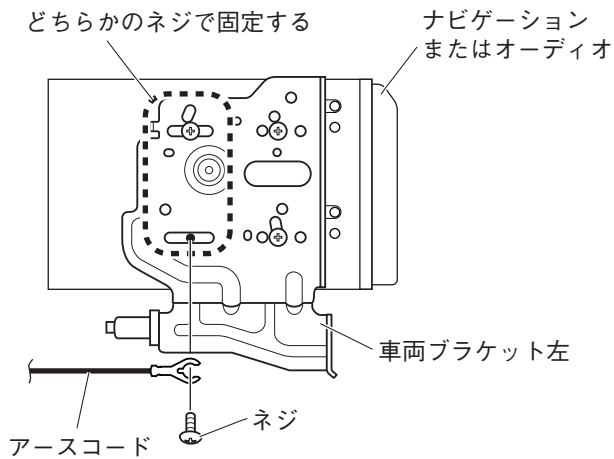
ギボシ部の余長は、束線バンド⑩で束ねます。

▲注意

電源ケーブル②の接続は、共通編の「結線図」を参照して接続してください。



<アースコードの接続>

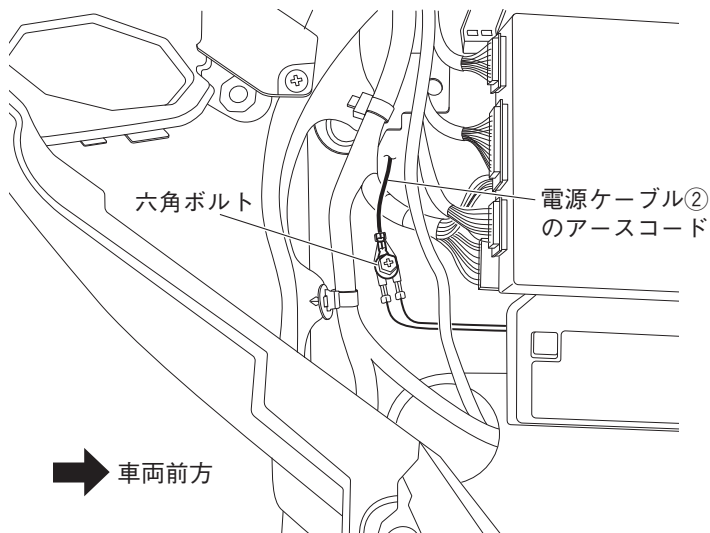


- 電源ケーブル②のアースコードを車両ブラケット左の図の位置に固定します。

⚠ 注意

アースが確実に取れていることをテスターで確認してください。

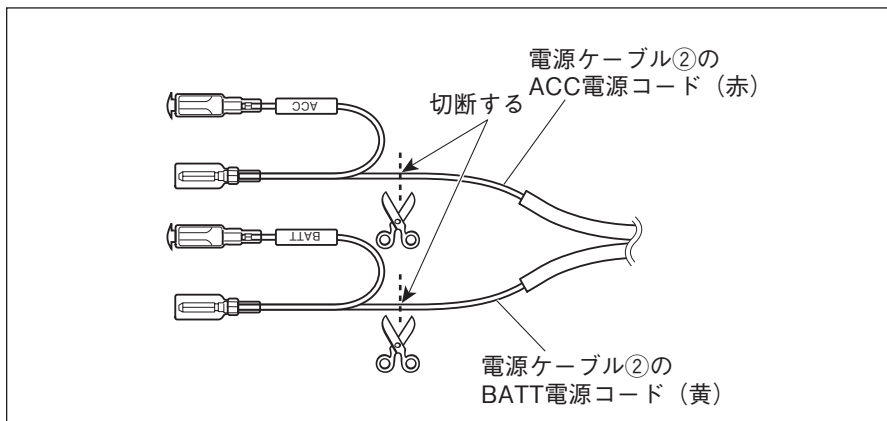
●ドライブレコーダーとナビ、オーディオを同時に取り付けない場合



- ドライブレコーダー①とナビ、オーディオを同時に取り付けない場合は、ダッシュサイドトリム (LH) 上側の左図の位置にてアースをとり、取り付け後の確認を行ってください。アース端子は他のアース端子と重ならないように取り付けて確認を行ってください。また、確認終了後は必要に応じアース端子を取り外し、ナビ、オーディオ取り付け部へ配線してください。

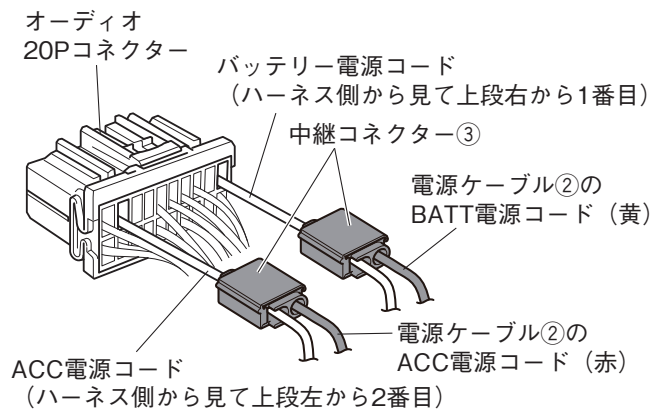
g. ACC 電源、バッテリー電源の取り出し要領

●スズキコネクタ対応通信機装着車以外の場合



1. 電源ケーブル②のBATT電源コード (黄色コード) およびACC電源コード (赤色コード) 先端のギボシ端子部を切断します。

<オーディオコネクタが20P (水色) の場合>

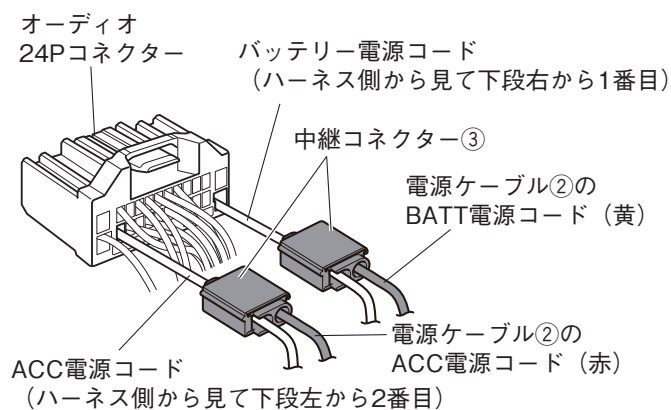


2. オーディオコネクタ (水色または灰色) のバッテリー電源コードに電源ケーブル②のBATT電源コード (黄色コード) を中継コネクタ③で接続します。
3. オーディオコネクタ (水色または灰色) のACC電源コードに電源ケーブル②のACC電源コード (赤色コード) を中継コネクタ③で接続します。

▲注意

中継コネクタ③の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用法」を参照してください。

<オーディオコネクタが24P (灰色) の場合>

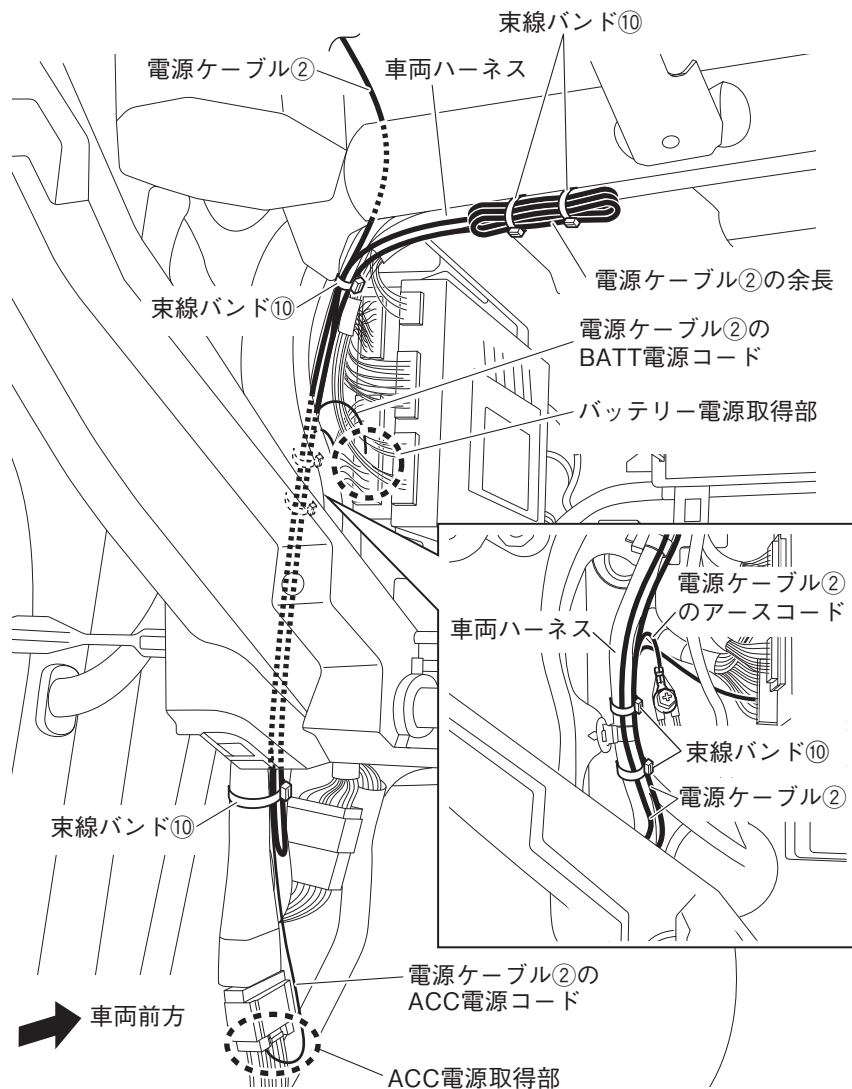


h. 電源ケーブルの配線 -2

●スズキコネクタ対応通信機装着車の場合

<グローブボックス取付部 /

ダッシュサイドトリム (LH) 左側の配線>



1. 電源ケーブル②を配線します。
電源ケーブル②は、束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。
余長は束線バンド⑩で車両ハーネスに固定します。

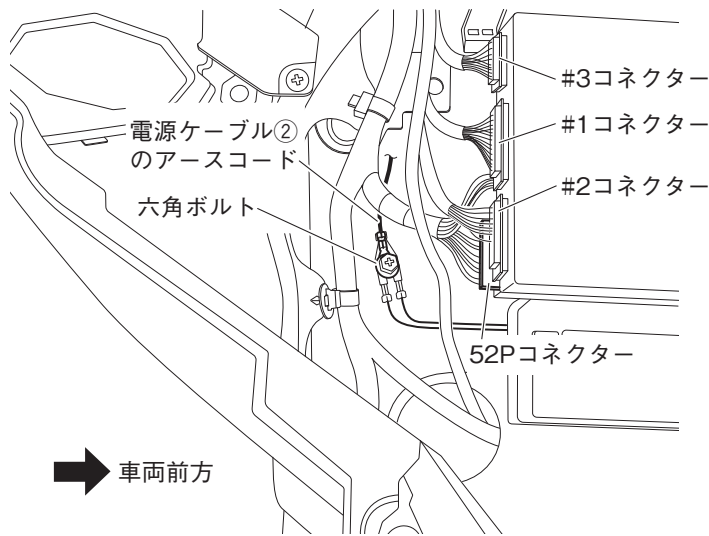
⚠ 注意

- ・ 2分割されている 電源ケーブル②を共通編の「結線図」を参照して接続してください。
- ・ 余長を固定する際は、ナビゲーションのGPSアンテナケーブルや地デジアンテナケーブルの余長と同じ場所に固定しないでください。

i. アースコードの接続 および ACC 電源、バッテリー電源の取り出し要領

●スズキコネクタ対応通信機装着車の場合

<アースコードの接続 および バッテリー電源取得部>



1. グローブボックス左側の六角ボルトにてアースを取得してください。

注記

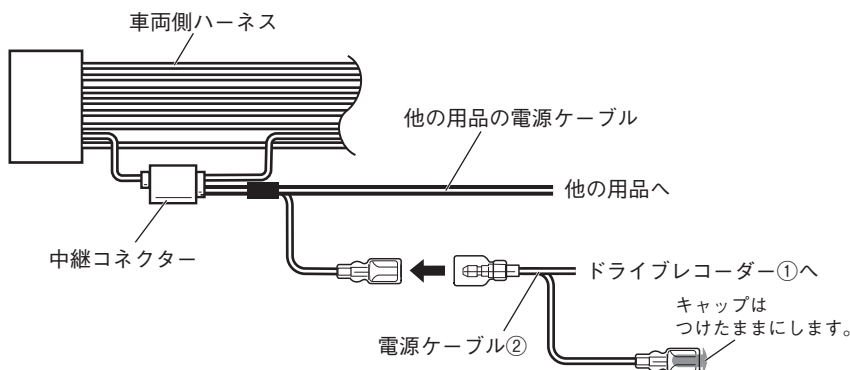
- ・他の用品のアース取得位置と重なる場合は、それぞれのアースコードをずらして取得してください。
- ・アース端子締め付け部は、締め付け後、端子が動かないことを確認してください。

2. バッテリー電源取得部の52Pコネクタを取り外してください。

注記

- 先に#1,#2,#3コネクタを取り外してから、52Pコネクタを取り外してください。

<同時に取り付ける用品の電源ケーブルにギボシ端子がある場合>

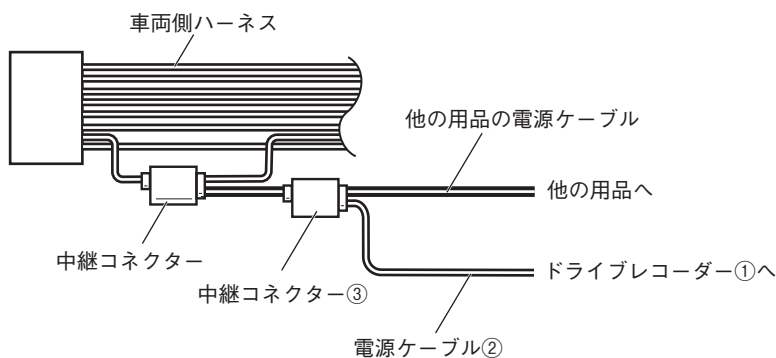


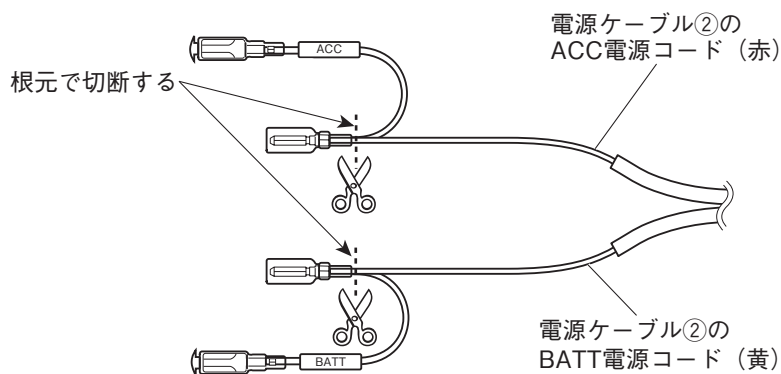
3. 同時に取り付ける用品がある場合、電源ケーブル②のBATT電源コードおよびACC電源コードは、左図の通りに配線します。

注記

- ・同時に取り付ける用品の電源は、最初に接続した電源ケーブルから分岐させてください。
- ・車両側ハーネスのコード1本につき、接続する中継コネクタは1個としてください。

<同時に取り付ける用品の電源ケーブルにギボシ端子がない場合>



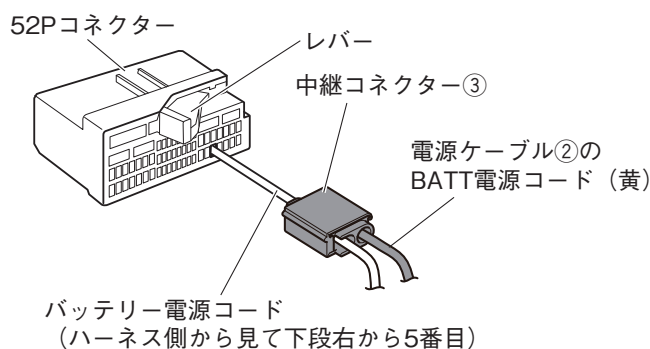


- 中継コネクタ③を使用する場合、電源ケーブル②のBATT電源コード(黄色コード)およびACC電源コード(赤色コード)先端のギボシ端子部を切断します。

注記

コードを適切な長さにするため、左図の通りギボシ端子の根元で切断してください。

< バッテリー電源 >

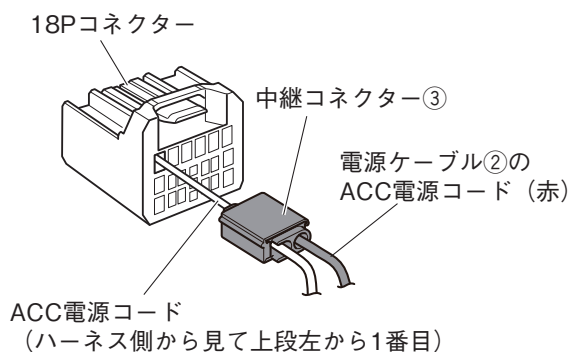


- 52Pコネクタ(灰色)のバッテリー電源コードに電源ケーブル②のBATT電源コード(黄色コード)を中継コネクタ③で接続します。
- 18Pコネクタ(灰色)のACC電源コードに電源ケーブル②のACC電源コード(赤色コード)を中継コネクタ③で接続します。
- 中継コネクタ③接続後、異音防止のためクッションテープ⑧(60X30mm)を中継コネクタ部に巻き付けてください。

▲ 注意

中継コネクタ③の接続方法は、共通編の「中継コネクタの使用法」を参照してください。

< ACC 電源 >



5. 車両部品の復元

- 取り外しと逆の手順で取り付けます。

- 車両部品復元時に一時的に取り外した部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取り付け前の状態に戻してください。(コネクタ類の接続・締め付けトルク等)
- 取り付け作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。車の電装品(ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど)が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因になります。
- オートライト機能装備車の場合は、オートライト未作動状態での点検を行ってください。

- ネジの締め付けトルクが規定されているものがある場合は、規定のトルクで締め付けてください。

注記

52P コネクタの枝線がねじれてレバーの操作力が高い場合は、無理に結線しないでください。